

ケーブルテレビ事業者の防災・災害対応

東日本大震災から約11年が経過し、今日に至るまで国民の防災意識が高まっている。

我々が備えるべき自然災害は様々あるが、近年では台風やゲリラ豪雨等による河川越水や道路冠水などの豪雨災害のような自然災害で甚大な被害が発生している。

自然災害に対する備えや、被害防止・最小化に向けた対策は、国全体の課題となっている中、生活インフラであるケーブル事業者様は、地域住民にとって生命線であり、緊急時の重要な役割を担っている。

今月号ではケーブル事業者様で実施されている防災対策や、将来の実用化に向けて実施されたローカル5Gを活用した実証実験について紹介する。

ケーブルテレビ株式会社様の取り組み

今回は、ケーブルテレビ株式会社（以下、ケーブルテレビ）技術部課長 日里 友幸 様に、現在の防災分野での取り組みや、同局にて昨年実施された「ローカル5Gを活用した防災分野における実証実験」についてお話を伺った。

ケーブルテレビ様では、2015年9月に発生した関東・東北豪雨をきっかけに防災分野での取り組みに近年、力を入れている。

2017年には、加入者へより視覚的な情報を提供することを目的にコミュニティチャンネルのサブチャンネルとして「LIFEチャンネル」の放送を開始した。

「LIFEチャンネル」ではエリア内の河川や道路状況、気象情報などを24時間ライブ配信しており、加入者がいつでも地域内の情報を確認することが可能である。今後は河川の水位情報等を追加することも検討しており、防災に活かせる情報をより発信できるような仕組みを検討している。

また、有事の際にはケーブル事業者様内での人員確保も課題になることから、有事の際にキャスターに代わってニュースを読み上げる「AIアナウンサー」をコミュニティチャンネル、FMサービスで昨年導入した。

自動音声での案内はもちろんのこと、スタッフが多言語で避難を呼びかけながら自身も避難して、安全な場所から情報を伝えることが可能となる。

ローカル5Gを活用した防災分野における実証実験

ケーブルテレビ様では防災・災害対応での取り組み強化として、2020年度に、株式会社地域ワイヤレスジャパン、栃木市等と共同でローカル5Gを活用した防災分野での実証実験を開始した。

【実証実験の概要】

ローカル5Gの防災分野への活用による地域課題解決を目指し、ローカル5Gの無線ネットワーク環境を構築し、栃木市の巴波川と永野川（共に1級河川）に4Kカメラ、水位計を設置。

河川の遠隔監視・河川画像の「AI分析」による監視サポートおよび「防災情報ダッシュボード」による一元的な情報可視化で、自治体の業務の高度化と職員負担の軽減、および住民に対して迅速かつ的確な避難情報の発令などを目指すもの。

【実施経緯】

2019年10月に発生した台風19号によって、ケーブルテレビ様のエリア内でも河川が5か所決壊。8,000戸が浸水するなど大きな被害が発生した。

災害発生当時、ケーブルテレビ様では、避難所へテレビを設置し情報発信や避難住民向けに地域BWAを利用した無料のWi-Fi端末の設置などの対応を実施。

地域BWAを利用したWi-Fi機器の設置対応をしたことで、急を要する災害時の対応では有線よりも無線の方が迅速な手配が可能なることから、無線での対応の機敏性・利便性を実感した。

ケーブルテレビ様内で防災意識が高まり、新たな取り組みを模索する中、総務省の「地域課題解決型ローカル5G等の実現に向けた開発実証」の防災分野案件の主要企業として実証に着手することとなった。

【実験内容の詳細】

①ローカル5Gの環境構築と4Kカメラの設置
台風19号で被害の大きかったエリア内の河川を選定し、4Kカメラと水位計を設置。構築したローカル5G網を使用して、高画質の映像や情報の高速送受信の実験を実施した。

②防災ダッシュボードとAI分析機能
避難情報の発令時、従来は複数のPCに多くの情報を表示して画面を切り替えたり、アナログでの作業を含めて確認している。

そのため視認性が悪く、情報の確認漏れや、職員間でスムーズな情報共有ができず、迅速な避難情報の発令に支障をきたす恐れがある。

上記を解決すべく、防災情報を一元表示できるダッシュボードを導入。

また、職員の河川監視負荷低減のために、水位計や4Kカメラの映像をAI分析することで、一定水位を超えた河川のアラートを出す機能を取り入れ、効率的かつ効果的なシステム高度化を図った。

訓練で使用した自治体では、避難情報発令までの判断に要する時間が従来よりも大幅に削減され、システム高度化による業務負荷軽減を実感する声が多かったとのことだ。

③地域住民向けの対応

地域住民へ向けとしては、コミュニティチャンネルやYoutube、専用アプリ等、複数の媒体を通して河川映像（アプリは画像情報のみ）のリアルタイム配信を行った。幅広い年齢層に情報が行き渡ることを目的とし、地域住民防災意識の向上と適切な避難行動の促進を図った。

実証実験に参加した住民からも、目に見える情報の有効性や高画質な河川の映像を自宅で見られることが、自身での避難判断をする上で非常に有効であると高い評価があった。

【今後の課題】

河川監視、情報発信については評価の声があった一方で、いくつかの課題も生まれた。

ローカル5Gは遮蔽の影響が大きいため、屋内使用においては通信が不安定になることが多くあった。実証実験の参加者へのアンケートでは上りが遅いという意見も多く、上りの速度増加のために「準同期TDD」※や「周波数幅拡張（ミリ波のみ）」を検討している。

また、自治体職員からの評価は高かったものの、自治体での導入・継続のコストが大きいこともあり、予算との兼ね合いから実用化に向けて、引き続きケーブルテレビ様と自治体の間での調整が必要となる。

今後ケーブルテレビ様では、ライブカメラや水位計を増やす計画で、引き続きローカル5Gの有効性検証および性能評価などを実施し、課題の抽出や解決策、実証成果の今後の普及へ向けた検討を行う予定だ。

おわりに

日本では自然災害の発生件数や被害額が増加の一途にあるが、防災分野でのローカル5Gの利活用によって、解決できる課題も多いだろう。

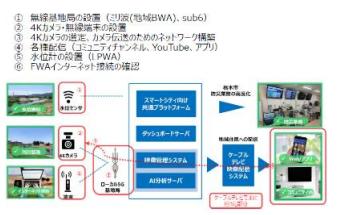
また、ローカル5Gに限らず防災・災害対応において、IoT活用はさらに重要度を増すことが予測されるため、今後も皆様の新たなサービス提供や施策検討の一助となれるよう、引き続き情報提供をさせていただき所存だ。



日里様



↑クリックで拡大できます



↑クリックで拡大できます



↑クリックで拡大できます



防災ダッシュボードの拡大写真



防災ダッシュボード画面撮影のスクリーンショット

↑クリックで拡大できます

みるプラス

4月のおすすめ

今月のみるプラスのおすすめはこの3本！

1)「スパイダーマン:ノー・ウェイ・ホーム」(4月13日 配信)

大人気シリーズ最新作！過去にスパイダーマンと共闘した、ドクター・ストレンジも登場し、ファンには見逃せない1作となっています。

2)「ウエスト・サイド・ストーリー」(4月13日 配信)

スティーブン・スピルバーグ監督が、伝説のミュージカルを念願の映画化！運命に逆らい、社会の分断を乗り越えようとした“禁断の愛”の物語。感動のミュージカル・エンターテインメントをお楽しみください。

3)「劇場版「名探偵コナン 紺青の拳(フィスト)」(4月1日 配信)

最新作公開に合わせ、第23作目を配信。舞台はシンガポール。世界最大のブルーサファイアをめぐる強大な陰謀に、コナンがキッドと共に立ち向かいます。その他過去作も配信！また、プライムでも配信中です。公開前に要チェック！

今月もみるプラスでお楽しみください！



CableGate

環境設定通知書のご案内

昨年CableGateの管理画面情報について多くのお問合せをいただきました。今回はCableGateにて管理に必要な情報をご提供する際にお送りしている「環境設定通知書」についてご案内いたします。

環境設定通知書には以下の情報を記載しております。

■提供内容一覧

- ・CableGateへのリンクにご利用可能なURL
- ・CableGate管理画面情報
- ・CableGate管理画面のヘルプページURL
- ・CableGateアクセスログ解析ツール情報
- ・FTPアカウント情報(発行済みの事業者様のみの記載)

CableGateに関する情報を1つの資料にてまとめていることから、ご担当者変更の際に引継ぎ漏れ防止としてお役に立つと考えております。ぜひご活用ください。

環境設定通知書について発行をご希望される場合は、下記連絡先までお問合せください。

■お問い合わせ先：下記アドレスへお問い合わせください。

cg-service@jdserve.co.jp

『Micro Cinema Contest (マイクロシネマコンテスト)』

応募期間を4月30日(土)まで延長中！

ケーブル4Kで実施中の『マイクロシネマコンテスト』は、まん延防止等重点措置の延長、応募希望者さまからの期間延長に関するお問い合わせを多数いただいたことを考慮し、応募期限を1か月延長することにいたしました。



【募集期間】
・～2022年4月30日(土)
【発表】
・2022年5月下旬
【募集サイト】
<https://microcinemacontest.jp/>

応募総数は100作品を超えました(3月中旬時点)。各クリエイターの個性や新しい発想が活かされた力作が届いております。また、各ケーブル事業者様からもご応募いただいております。

締め切りまで残り1か月となりますが、告知のご協力やケーブル事業者様からのご応募も引き続きお待ちしております。

■お問い合わせ先：

弊社担当(コンテンツサービス企画部：小川)までお問い合わせください。

t-ogawa@jdserve.co.jp

ケーブル4K

『ふるさと』Instagramを新たに開設

1)「ケーブル4K」採用事業者情報について

■2022年4月1日時点：76事業者

2)「ケーブル4K」4月のニュース

■全国の“ふるさと風景”を厳選！ふるさと×Instagram始めました

全国のケーブル事業者様から届いた美しい風景や名所旧跡などの映像をお届けする番組『ふるさと』。

美しい“ふるさと風景”をより多くの方々に知っていただくために、ふるさとの画像や動画だけを集めたInstagramを開設。今後『ふるさと』から様々な展開を予定しております。

皆さまのフォロー、そして、ふるさと映像の応募をお待ちしております。
※ケーブル4K採用事業者様に限らず映像を募集しております。

■YouTube『ふるさと』はこちら

https://www.youtube.com/playlist?list=PLSdJ9JqWHjbl8L2k0Qt2COc_esS_ACAXH



Instagram
フォローはこちら



FURUSATO_C4K

物販

SHARP AQUOS wish SH-M20

毎日の生活に寄り添う、丈夫で使いやすいスマートフォン！
「シンプルで飾らないスマホ」をコンセプトに生まれた「AQUOS」の新シリーズです。

シンプルなデザイン

すっきりとしたディスプレイ面と指がかりのよい側面形状。環境に配慮した取り組みの一環として筐体に再生プラスチック材を35%使用しています。

丈夫で壊れにくい

いつも身近にあるものだから。防水・防塵・耐衝撃に対応しているので、万が一のときにも安心です。

セキュリティも最新の快適も

マスクをしたままでも本体側面の指紋センサーで、ロックをすばやく解除できます。

カメラ操作もシンプル

Googleのカメラアプリ「Camera Go」を搭載。素早い起動で撮りたい時にすぐ使えてシャッターチャンスを逃しません。



■注意事項

納期不安定の為、ご注文前には、必要台数と共にお問合せ下さい

■お問合せ先：

弊社担当(大橋・永山)または下記アドレスへお問い合わせください。

welcome-j@jdserve.co.jp

お知らせ

「第14回JDSフォーラム」を開催しました！

全国のケーブル事業者様の経営に資する情報を提供する場として開催しているJDSフォーラムを、今年は初のWEBセミナー形式で開催いたしました。

これまでは会場にご来場いただき開催していましたが、初のWEBセミナー形式にも関わらず、今回59社120名の方にご参加いただきました。

ご参加くださいました皆様には改めてお礼申し上げます。

今回のフォーラムでは、昨今オンラインを活用したサービスが注目を集めている中、昨年7月より「J:COMオンライン診療」を開始されたJCOM株式会社から、執行役員 ビジネスイノベーション部門イノベーション推進本部長 櫻井 俊一 様をお招きし、「J:COMオンライン診療(ヘルスケア事業)について」というテーマでご講演いただきました。

次回開催する際は再び皆様にご来場いただき、実開催ができるようになることを願っております。

皆様とお会いできることを弊社社員一同、心待ちにしております。